AirStation WLAR-L11-L

ネットワーク活用ガイド

本書には、AirStation の設定例や便利な機能の使い方などが記載されています。
必要に応じてお読みください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

注意マーク

⚠注意 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

メモ 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

▶参照 関連のある項目のページを記しています。

- 文中 [ ] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- 文中『 』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- 本書では原則として WLAR-L11-L を AirStation と表記しています。
- 本書では原則として弊社製無線 LAN カードを装着したパソコンを無線 LAN パソコンと表記しています。
- ケーブルで接続された 10/100BASE の LAN と、ケーブルを使用しない無線 LAN を明確にするため、本書では次の用語を使用しています。

  有線 LAN…ケーブルで接続された LAN

  無線 LAN…無線通信を使用した LAN

  上記は、説明のために本書のみで便宜上使用する用語であり、一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。
- 本書では原則として AirStation を設定するパソコンを設定用パソコンと表記しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等 (または役務) に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可 (または役務取引許可) が必要です。

無線LANの活用で、さらに広がるネットワーク

移動性と拡張性

無線LANだから増設も簡単

無線LANならケーブル不要だから増設も簡単。部屋の美観も損ねません。

無線LANパソコン同士、無線LANと有線LAN間で通信可能

ファイルの共有や、プリンタの共有など、有線LANのメリットをそのまま無線LANで実現できます。

4ページ

AirMac対応パソコンにも接続可能

AirMac対応パソコンとファイル共有することもできます。

13ページ

部屋から部屋へ、移動も簡単…ローミング機能

AirStationが複数台あれば、パソコンを移動しても自動的に接続を変更してくれ、機動力はグーンとアップ。

10ページ

複数のAirStationをグループ分けして、ネットワークを効率化

グループごとに無線チャンネルを設定することにより、効率のよい通信環境を構築できます。

18ページ

LAN全体のセキュリティを確保

MACアドレスによるアクセス制限

登録されたパソコン以外の接続を制限します。

15ページ

WEPによる暗号化

暗号化により無線LAN上のセキュリティを確保します。

17ページ

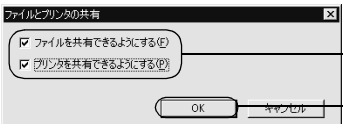
目　次

第 1 章　もっと使える便利な機能

■　ここで説明すること

AirStation の設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

1.1 通信環境を設定する

■ 他のパソコンと通信をする

AirStation は 4 ポートスイッチングハブを内蔵しており、以下の手順で他のパソコンとのネットワーク環境を構築することができます。ここでは、Windows 98 での手順を説明します。

ネットワークの設定

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［コントロールパネル］内の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

Windows Me / 98 をお使いの場合は、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

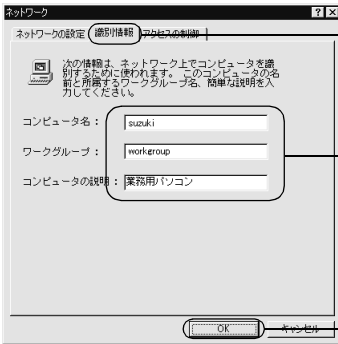
4

［ファイルを共有できるようにする］および［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックして ON にします。
［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

5

［Microsoft ネットワーク共有サービス］が追加されます。

6

［識別情報］タブ（Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ）をクリックします。

［コンピュータ名］－［ワークグループ］、および［コンピュータの説明］を確認します。

［OK］をクリックします。

［コンピュータ名］－［ワークグループ］には、半角英数字を入力することを推奨します。

⚠注意　一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できない場合があります。

⚠注意　ワークグループ名は、ネットワークで接続するすべてのパソコンに、同じ名前を設定してください。

▶参照　［コンピュータ名］－［ワークグループ］－［コンピュータの説明］の詳細説明については、「第 3 章　ネットワーク用語解説」の「Windows Me/98/95 の画面」（P50）を参照してください。

7　「今すぐ再起動しますか？」と表示されます。
［はい］をクリックします。

パソコンの共有設定

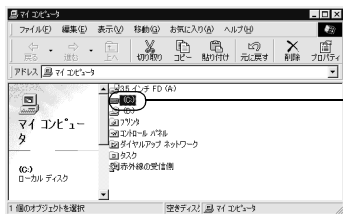
ドライブやフォルダの共有を設定します。

ここでは、［マイコンピュータ］の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1　デスクトップ上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

2

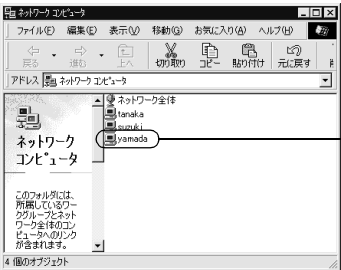
C ドライブのアイコンを、マウスの右ボタンでクリックします。
メニューから［共有］を選択します。

3

［共有する］のオプションボタンをクリックします。

「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更します。

［OK］をクリックします。

▶参照　「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、「第 3 章　ネットワーク用語解説」の「Windows Me/98 の画面」（P51）または「Windows95 の画面」（P52）を参照してください。

4　C ドライブのアイコンが、以下のように変わります。

他のパソコンとの通信

他のパソコンとの通信ネットワークへの接続確認が完了したら、他のパソコン（無線 LAN パソコン、または有線 LAN 上のネットワークのパソコン）と実際に通信してみましょう。

ここでは、Windows98 の画面を用いて説明します。

1　デスクトップ上の［ネットワーク　コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
接続されているパソコンが表示されます。

2

通信したいパソコンをダブルクリックします。
通信したいパソコンが表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「■　有線 LAN 上のパソコンと接続できない」を参照してください。

3

「パソコンの共有設定」（P6）で設定されたドライブが表示されます。
通信したいドライブをダブルクリックします。

4

ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。

以上で、本製品を装着したパソコンから、無線 LAN または有線 LAN 上のパソコンへの接続が完了しました。無線 LAN と有線 LAN を使用した、快適な環境でパソコンをお使いいただけます。

■ AirStation の設定画面を表示する

AirStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1 お使いの Windows に応じて以下を参照して、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。

Windows Me の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　Windows Me 編」の「Step 3 設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

Windows98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　Windows98/95 編」の「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　Windows2000/NT4.0 編」の「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

2 ［スタート］－［プログラム］－［MELCO　AirStation］－［エアステーションマネージャ］を選択します。

3 1 選択 ［ファイル］－［接続］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いの場合は、［編集］－［エアステーション検索］をおこなったあと、手順 **6** へ進みます。

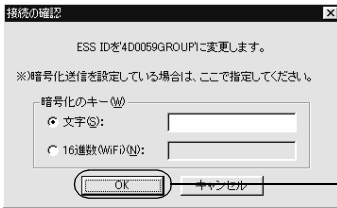
4

以下の値を入力します。
MAC アドレス：
AirStation の MAC アドレスの下 6 桁の値
グループ名：
「GROUP（大文字）」

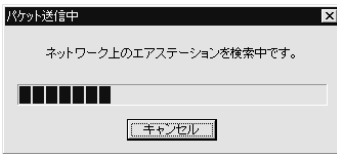
［OK］をクリックします。

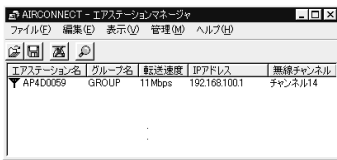
ESS-ID を直接入力する場合は、「ESS-ID の入力」をチェックして、ESS-ID を入力します。

▶参照　MAC アドレスは AirStation 本体に貼り付けられているシールに記載されている 12 桁の値です。AirStation の MAC アドレスについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

5

［OK］をクリックします。

WEPによる暗号化の設定をしているときは、「暗号化キー」にパスワードを入力してください。

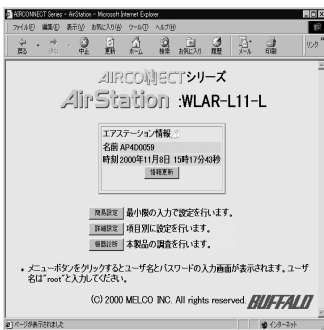
6

AirStationの検索が始まります。

7

AirStationが表示されます。

8

検索されたAirStationを選択します。

［管理］－［エアステーション設定］を選択します。

9

WEBブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、別冊『インターネットスタートガイド』の「第5章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

1 もっと使える便利な機能

■　ローミング機能を使う

ローミング機能を使用すると、部屋から部屋への移動の際、AirStation の接続設定をする手間なく、自動的に複数の AirStation を切り換えることができます。

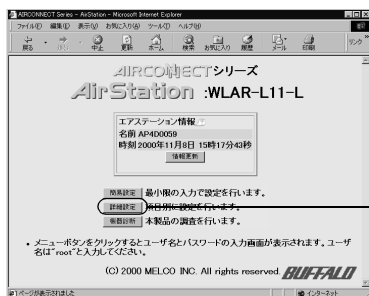
ローミング機能の設定は、以下の手順でおこないます。

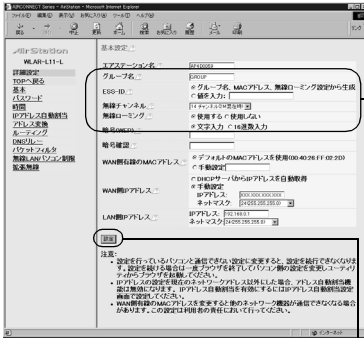
⚠注意　ローミング機能の設定は、必ず有線 LAN 上のパソコンからおこなってください。無線 LAN パソコンから設定すると、AirStation に接続できなくなります。この場合は、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」「無線 LAN パソコンから設定後、AirStation に接続できなくなった」を参照してください。

メモ
- AirStation とローミングが可能な他社製無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。
- ローミング機能を有効にしているときは、無線チャンネルが異なっていてもローミング可能です。
- WEP 機能を使用するときは、ローミングをおこなうすべての AirStation と、アクセスポイントの WEP を同じ設定にしてください。

AirStation の設定

1　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2　1 クリック　［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

3

1 入力　以下の設定をおこないます。

《AirStation 同士でローミングをする場合》

グループ名：
　無線ローミングをおこなう AirStation すべてに、同じグループ名を入力します。

ESS-ID：
　「グループ名、MAC アドレス、無線ローミング設定から生成」を選択します。

無線ローミング：
　「使用する」をチェックします。

《他社製アクセスポイントとローミングをする場合》

ESS-ID：
　「値を入力」を選択して、他社製アクセスポイントと同じ ESS-ID を入力します。

グループ名：
　設定は無効となります。

無線ローミング：
　設定は無効となります。

2 クリック　［設定］をクリックします。

4　以後は画面の指示に従ってください。

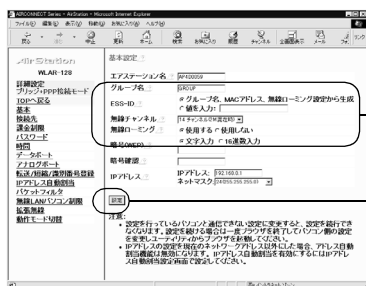
無線 LAN パソコンの設定

1　無線 LAN パソコンから［スタート］－［プログラム］－［MELCO AIRCONNECT］－［クライアントマネージャ］を選択します。

2

1 選択　［ファイル］－［手動設定］を選択します。

⇒ 次ページへ続く

3

1 入力

「AirStation の設定」（P10）の手順 3 の ESS-ID の設定によって、以下の設定内容が異なります。
該当する項目に従って設定します。

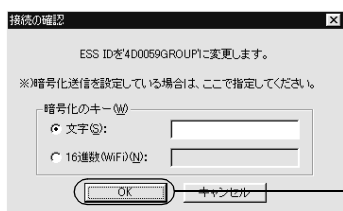
《「グループ名、MAC アドレス、無線ローミング設定から生成」を選択した場合》
ESS-ID：
「"000000" ＋グループ名」を入力します。
通信モード：
「エアステーション経由通信（11Mbps）」を選択します。

《「値を入力」を選択して、ESS-ID を入力した場合》
ESS-ID：
AirStation に設定した ESS-ID を入力します。
通信モード：
「エアステーション経由通信（11Mbps）」を選択します。

2 クリック

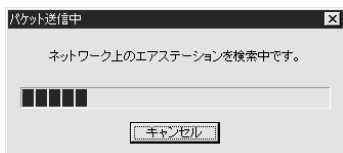
［OK］をクリックします

4

接続の確認
ESS IDを'4D0059GROUP'に変更します。
※)暗号化送信を設定している場合は、ここで指定してください。
暗号化のキー(W)
文字(S):
16進数(WiFi)(N):
OK　キャンセル

1 クリック

［OK］をクリックします。

WEP による暗号化の設定をおこなっているときは、「暗号化のキー」欄にキーを入力してください。

5

ESS-ID の変更後、AirStation の検索が始まります。

⇒ 次ページへ続く

6

AIRCONNECT - クライアントマネージャ
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ヘルプ(H)

エアステーション名	グループ名	転送速度
AP7784DF	GROUP*	11Mbps
AP77009A	GROUP*	11Mbps

電波状態 100% 速度 11Mbps

1 確認　AirStation が接続できたことを確認してください。

メモ　ローミングで通信可能なエアステーションには、アンテナマーク（▼）が表示されます。

■　AirMac 対応パソコンから AirStation に接続する

AirMac 対応パソコンと Windows パソコンでファイル共有するには、ファイル共有をサポートするソフトウェア（例：ウィニングラン・ソフトウェア株式会社製 DAVE 等）を使う方法があります。

メモ　共有させる設定方法については、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルを参照してください。

AirMac 対応パソコンから AirStation に接続するには、次の手順でおこないます。

メモ　作業をおこなう前に、AirMac 対応パソコンに AirMac ソフトウェアをインストールして、AirMac が使用できることを確認してください（インストール手順は、AirMac 添付のマニュアルを参照してください）。

1　設定用パソコン（Windows パソコン）から AirStation の設定画面を表示します。

▶参照　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照してください。

2　［機器診断］をクリックします。

3　「暗号（WEP）機能」欄に、「使用しない」と表示されていることを確認します。

「使用する」と表示されているときは、「WEP（暗号化）機能でセキュリティを強化する」（P17）を参照して、「暗号（WEP）」欄および「暗号確認」を空欄に設定してください。

4　「無線チャンネル」欄に、「1 チャンネル」～「13 チャンネル」のいずれかが表示されていることを確認します。

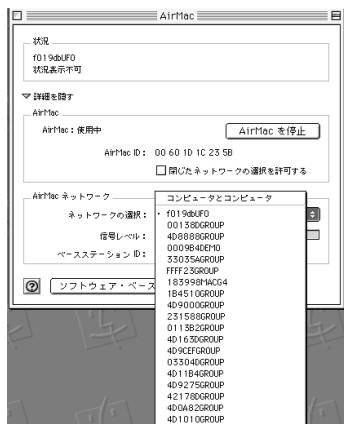
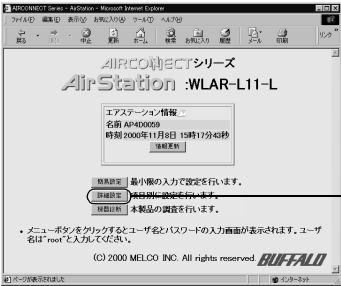
「14 チャンネル」と表示されているときは、「複数の AirStation をグループ分けする」（P18）を参照して、無線チャンネルを「1 チャンネル」～「13 チャンネル」のいずれかに設定してください。

5　「ESS-ID」欄に表示されている、AirStation の ESS-ID をメモします。

6

AirMac 対応パソコンを起動して、「メニューバー／アップルメニュー」－「AirMac」を選択します。AirMac の設定ツールが起動します。

7

「AirMac ネットワーク」の「ネットワークの選択」欄のプルダウンメニューから、手順 **5** で確認した AirStation の ESS-ID を選択します。

1.2 セキュリティを強化する

■ 無線 LAN パソコンからの接続を制限する

無線 LAN パソコンから AirStation への接続を制限するには、以下の手順で設定をおこなってください。

この設定をおこなうと登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

1 「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック

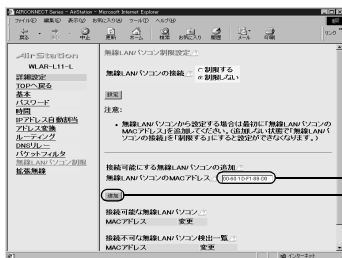
［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック

「無線 LAN パソコン制限」をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

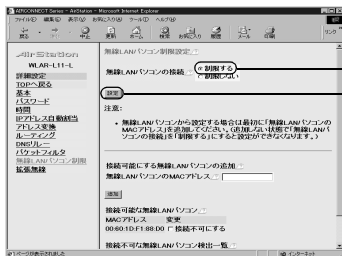
4

「無線LANパソコンのMACアドレス」欄に接続可能にする無線 LAN パソコンの MAC アドレスを入力します。

［追加］をクリックします。

- 無線 LAN パソコンの MAC アドレスは、無線 LAN パソコンに添付のマニュアルを参照してください。
- MAC アドレスを入力するときは、2 桁ずつコロン（:）で区切って入力してください。
- 「接続不可な無線 LAN パソコン検出一覧」に、接続可能にしたい無線 LAN カードが表示されているときは、該当する MAC アドレスの「接続可能にする」をチェックして、［変更］をクリックしてください。

5 「MAC アドレスを追加しました」と表示されたら、［戻る］をクリックします。「接続可能な無線 LAN パソコン」欄に、追加した MAC アドレスが表示されます。

登録できる MAC アドレスは 256 個までです。

6

1 選択 「無線 LAN パソコンの接続」欄で「制限する」を選択します。

2 クリック ［設定］をクリックします。

無線 LAN パソコンから設定をおこなう場合は、「接続可能な無線 LAN パソコン」に無線 LAN パソコンが登録されていることを確認してから、［設定］をクリックしてください。登録する前に設定を行った場合は、「AirStation の設定を出荷時設定に戻す」（P30）を参照して出荷時設定に戻してください。

7 「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。

以上で、「接続可能な無線 LAN パソコン」欄に登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

メモ　登録した MAC アドレスのパソコンを使用不可するときは
「接続可能な無線 LAN パソコン」欄で、該当する MAC アドレスの「接続不可にする」をチェックして、[変更] をクリックします。

■　WEP（暗号化）機能でセキュリティを強化する

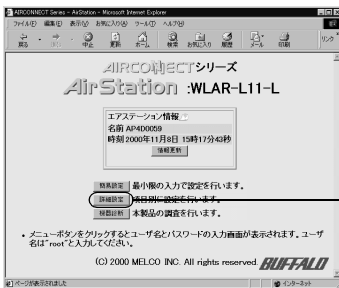
WEP 機能で無線パケットを暗号化することにより、外部からの無線パケット解析を防ぎます。以下の手順で AirStation を設定します。

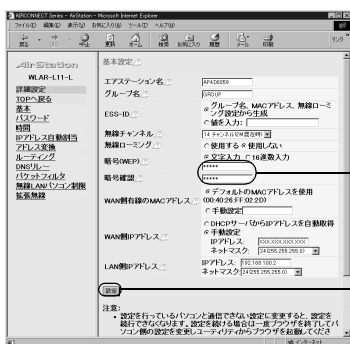
メモ
- WEP 機能を使って AirStation と通信できる無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。
- WEP を設定した場合は、弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）や Macintosh ※と通信することができません。
  ※ AirMac の WEP 機能とは互換性がありません。

⚠注意　WEP（暗号化）機能の設定は、必ず有線 LAN 上のパソコンからおこなってください。無線 LAN パソコンから設定すると、AirStation に接続できなくなります。もし無線 LAN パソコンから設定してしまった場合は、別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「無線 LAN パソコンから設定後、AirStation に接続できなくなった」を参照してください。

1　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

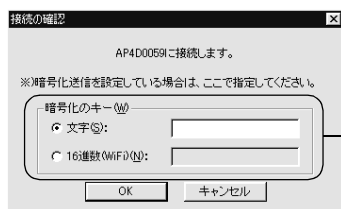
［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

3

1 入力　「暗号（WEP）」欄に暗号キーを入力します。
また、「暗号確認」欄にも再度同じ文字列を入力します。

2 クリック　［設定］ボタンをクリックします。

暗号キーは「文字入力」(5 文字) と「16 進数入力」(10 桁) を選択することができます。文字入力を選択した場合、暗号キーは半角英数字またはアンダーバー”_”を含む5 桁の文字列で入力してください。

4　「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。

メモ

1 入力　WEP を設定したときは、クライアントマネージャから AirStation へ接続する際に、「暗号化のキー」に手順 **3** で設定した暗号キーを入力します。
暗号キーを入力しない場合は、AirStation と通信することができません。

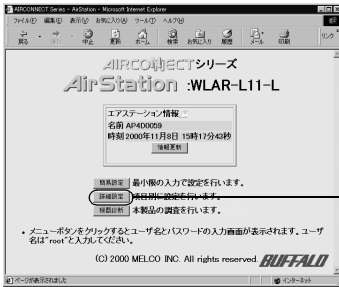
■　複数の AirStation をグループ分けする

同じフロアに AirStation が複数台ある環境において無線 LAN パソコンが通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、それぞれの AirStation が同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワークが、異なる周波数（無線チャンネル）を使用するように設定（グループ分け）することで、他の無線 LAN ネットワークに影響を与えることなく通信できます。

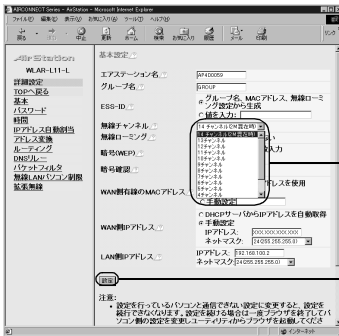
無線チャンネルを変更してグループ分けをする場合は、以下の手順でおこないます。

1　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

⇒ 次ページへ続く

2

1 クリック

［詳細設定］をクリックします。

3

1 選択

「無線チャンネル」欄で、AirStationに設定する無線チャンネルを選択します。

2 クリック

［設定］ボタンをクリックします。

4 「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。

メモ

- 隣り合ったチャンネルなど近い周波数では、互いに干渉してしまうことがあります。干渉しないようにするには、4 チャンネル以上間隔をあけてチャンネルを設定してください（無線チャンネルを変更して使用する場合、他の無線設備と電波干渉をおこすことがあります）。
- 弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）を装着したパソコンと通信するときは、無線チャンネルを必ず「14 チャンネル」に設定してください。
- AirMac 対応パソコンと通信するときは、無線チャンネルを「1 チャンネル」～「13 チャンネル」に設定してください（弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）を装着したパソコンと AirMac 対応パソコンは同時に通信できません）。

1

もっと使える便利な機能

1.3 各種設定の変更と確認

■ 設定画面のパスワードを設定する

AirStation の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。

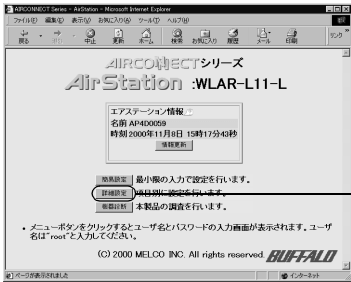
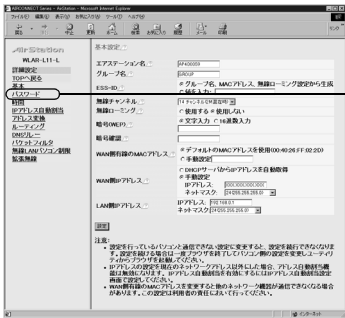
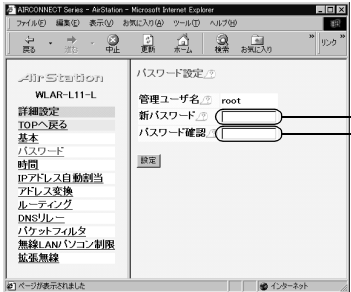
1 「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

［パスワード］をクリックします。

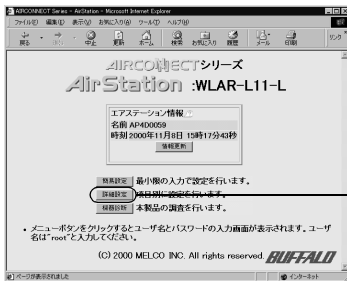
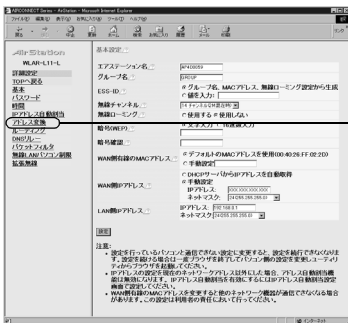
4

「新パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

「パスワード確認」欄に再度パスワードを入力します。

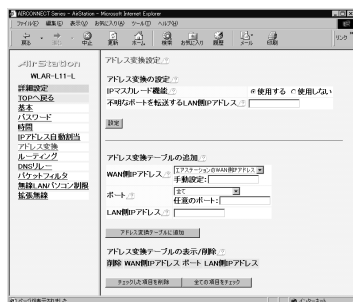
メモ　パスワードとして入力できるのは、半角英数字と "_"（アンダーバー）の組み合わせで、最大 8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。
パスワードを忘れてしまった場合は、AirStaion 背面の工場出荷設定スイッチを押すと、出荷時のパスワードに戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。
工場出荷設定スイッチについては、別冊『ご使用になる前に必ずお読みください』の裏面「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

■ NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなう

各種 NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなうには、以下の手順をおこないます。

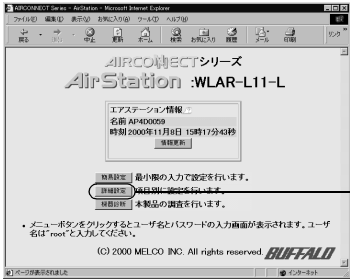
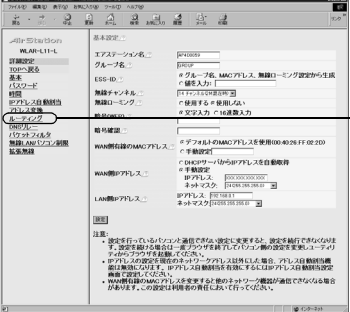
1 「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2 1クリック ［詳細設定］をクリックします。

3 1クリック ［アドレス変換］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4 この画面で各種 NAT（アドレス変換）機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。

- **IP マスカレード機能**

  IP マスカレードとは、1 つの IP アドレスを複数の IP アドレスで共有する技術です。一般的なインターネット契約（IP アドレスが 1 つの契約）では、" 使用する " を選択します。" 使用しない " を選択した場合、LAN 側で使用する機器以上のグローバル IP アドレスを入手して設定しないと、インターネット接続ができなくなります。なお、「ルーティング」設定と併用することにより、本格的な LAN 間接続に対応することが可能です。（ルーティングの設定には相応の知識が必要となりますので、充分ご注意ください）

- **不明なポートを転送する LAN 側 IP アドレス（DMZ アドレス設定）**

  DMZ に指定するパソコンの IP アドレスを設定します。ここに設定されたパソコンは、WAN 側に直接つながっているかのように使用することができます。従来、IP マスカレード機能を使用した場合には利用できなかった、ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションなどが使用できます。この機能は、IP マスカレード機能を " 使用する " と設定した場合のみ有効です。なお、アドレス変換テーブルに設定した場合は、そちらの設定が優先されます。

- **アドレス変換テーブルの追加機能**

  各種サーバ（WWW サーバ、FTP サーバ等）の公開が可能とする機能です。WAN 側 IP アドレス、ポート番号、LAN 側 IP アドレスの組み合わせにより、最大 32 種類の組み合わせを設定することができます。例えば WWW（HTTP）サーバの公開の場合は、ポート 80 番宛のインターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送するよう設定することによって実現できます。ただし、サーバの公開には一般的に固定グローバル IP アドレスの取得が必要となります。ご注意ください。

■　ルーティング機能の設定をおこなう

以下の設定で、各種ルーティング機能の設定ができます。

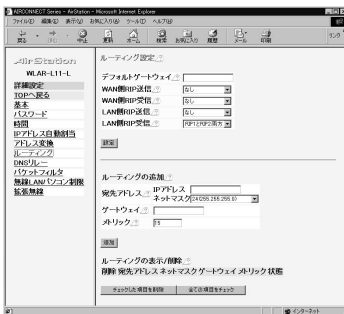
1　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

［ルーティング］をクリックします。

4　この画面で各種ルーティング機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。

⇒ 次ページへ続く

- デフォルトゲートウェイ

  AirStation に設定されていないパケットの、宛先ルータを設定します。

  WAN 側 DHCP よりデフォルトゲートウェイアドレスを取得している場合は、この設定は無効となります。

- RIP 送受信

  RIP は、ルータ間で自動的にルーティングテーブル情報を交換するプロトコルです。WAN 側 RIP 双信は、IP マスカレード使用時には無効となります。RIP を誤って設定すると、多数のルータが通信できなくなるなど、多大な影響を及ぼしますので、設定には充分ご注意ください。

- ルーティングの追加

  ルーティングテーブルを手動で追加することができます。

■　無線 LAN カードのドライバをバージョンアップする

すでに弊社製無線 LAN カード（WLI-PCM-L11 ／ WLI-PCM）を使ってネットワークを構築されている方で、弊社 AirStation を使用する方は、以下の手順で無線 LAN カードのドライバを再インストールしてください。

無線 LAN カードドライバの再インストール

以下のインストール手順を参照して、ドライバを再インストールします。

「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使用してドライバをインストールした場合は、再インストールする必要はありません。

1　お使いの Windows に応じて以下を参照して、無線 LAN カードのドライバを削除してください。

Windows Me/98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「インストール画面が表示されない」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 5 章　困ったときは」の「クライアントマネージャを起動したときにエラーメッセージが表示される」

2　お使いの Windows に応じて以下を参照して、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。

Windows Me の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　Windows Me 編」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」

⇒ 次ページへ続く

Windows98/95 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　Windows98/95 編」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」

Windows2000/NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　Windows2000/NT4.0 編」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」

■　パケットフィルタの設定例

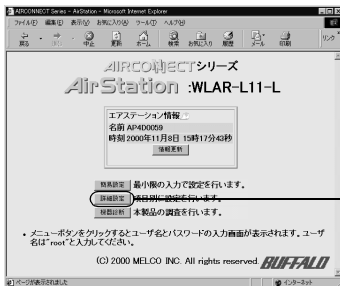
パケットフィルタの設定で、以下の 3 つの設定を変更することができます。

- LAN 側から WAN 側へのフィルタを手動設定する
- 無線 LAN からの設定を禁止する
- NBT パケットのルーティングを禁止する

設定手順は以下の通りです。

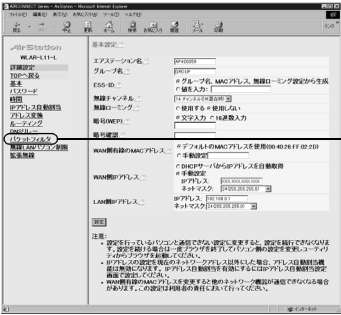
1　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

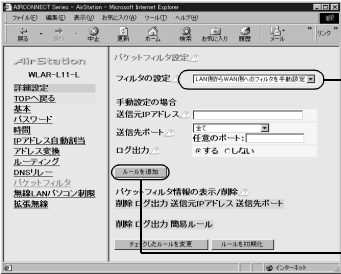
2

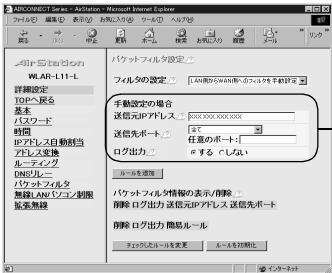
［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

1 もっと使える便利な機能

3

1 クリック　［パケットフィルタ］をクリックします。

4

1 選択　「フィルタの設定」欄から、設定する項目を選択します。

2 クリック　［ルールを追加］をクリックします。

「LAN 側から WAN 側へのフィルタを手動設定」を選択した場合

1 入力　以下の項目も入力します。

送信元 IP アドレス　：通信パケットを通さない送信元 IP アドレスを入力します。

メモ　連続した IP アドレスを指定することもできます。
例：192.168.0.5-192.168.0.10

送信元ポート　：通信パケットを通さない送信元ポートを入力します。
「任意の TCP ポート」および「任意の UDP ポート」を選択した場合は、「任意のポート」欄にポート番号を入力してください。

メモ　連続したポートを指定することもできます。
例：2000-3000

ログ出力　：パケットを検出したときにログへ出力するかどうか設定します。

⇒ 次ページへ続く

5　「パケットフィルタを登録しました」と表示されます。
［戻る］をクリックします。

6

1 確認　追加したパケットフィルタが表示されます。

以上で設定完了です。

■　IP アドレス自動割当機能（DHCP サーバ）の設定例

以下の場合の設定例を説明します。

DHCP サーバ機能で割り当てるアドレス

192.168.0.5 ～ 192.168.0.20

上記の IP アドレスのうち除外するアドレス

192.168.0.17

⚠注意　DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスは､AirStation の IP アドレスと同じネットワークアドレスとなるように設定してください。

1　「AirStation の設定画面を表示する」（P8）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

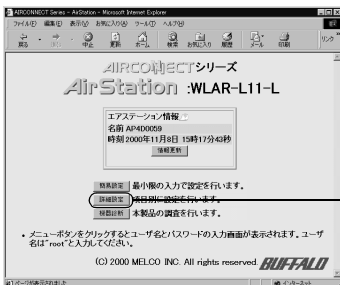
3

1 クリック　「IP アドレス自動割当」をクリックします。

4

1 入力　以下の設定を入力します。
IP アドレス自動割当機能：
「LAN 側に使用する」
割り当て IP アドレス：
「192.168.0.5」から「16」台
削除 IP アドレス：
「192.168.0.17」

2 クリック　「設定」ボタンをクリックします。

メモ　AirStation を使用してインターネットに接続する場合は、以下の項目も設定します。
デフォルトゲートウェイ　：「AirStation の IP アドレス」
DNS サーバ通知　：プロバイダから指定された DNS アドレスを入力します。

以上で設定完了です。

■ AirStation の IP アドレスを確認する

以下の手順で AirStation の IP アドレスを確認できます。

1 お使いの Windows に応じて以下を参照して、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。

Windows Me の場合：
別冊『インターネットスタートガイド』の「第 3 章　Windows Me 編」の「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

Windows98/95 の場合：
別冊『インターネットスタートガイド』の「第 2 章　Windows98/95 編」の「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

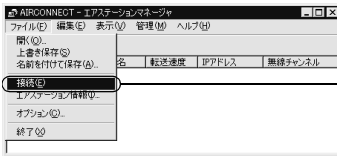
⇒ 次ページへ続く

Windows2000/ NT4.0 の場合：

別冊『インターネットスタートガイド』の「第 4 章　Windows2000/NT4.0 編」の「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」

2　［スタート］－［プログラム］－［MELCO　AirStation］－［エアステーションマネージャ］を選択します。

3

［ファイル］－［接続］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いのときは、［編集］－［エアステーション検索］をおこなったあと、手順 5 へ進みます。

4

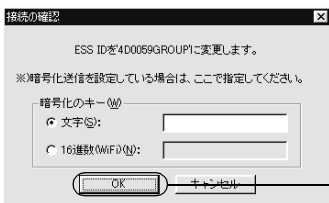
以下の値を入力します。
MAC アドレス：
　AirStation の MAC アドレスの下 6 桁
グループ名：
　「GROUP（大文字）」

［OK］をクリックします。

ESS-ID を直接入力するときは、「ESS-ID の入力」をチェックして、ESS-ID を入力します。

▶参照　AirStation の MAC アドレスは、AirStation 本体に貼り付けてあります。別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5　各部の名称とはたらき」を参照して確認してください。

5

［OK］をクリックします。

WEP による暗号化の設定をしているときは、「暗号化キー」にパスワードを入力してください。

⇒ 次ページへ続く

6 AirStation の検索が始まります。

7 「IP アドレス」欄に、AirStation の IP アドレスが表示されます。

■ AirStation の設定を出荷時設定に戻す

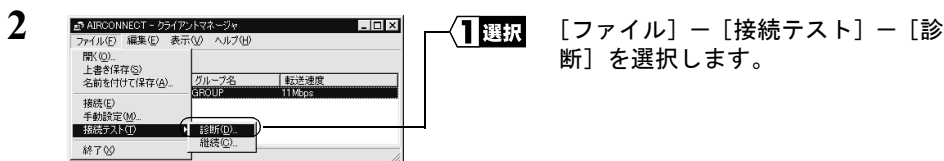
1 AirStation が動作していることを確認します。

2 AirStation の背面にある工場出荷設定スイッチを 3 秒以上押し続け、DIAG ランプが点灯したらスイッチを離します。DIAG ランプが消灯すると、出荷時設定にリセットされます。

メモ 工場出荷設定スイッチについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5 各部の名称とはたらき」を参照してください。

■ 電波状態を確認する

無線 LAN パソコンと AirStation 間の電波状態を確認するときは、以下の手順でおこなってください。

1 無線 LAN パソコンから、[スタート]－[プログラム]－[MELCO AIRCONNECT]－[クライアントマネージャ] を選択します。

2 [ファイル] － [接続テスト] － [診断] を選択します。

アンテナマーク（▼）のついている AirStation の接続テストをおこないます。

⇒ 次ページへ続く

3

接続テスト

接続先エアステーション:	AP4D0059
送信パケット数:	34
受信パケット数:	33
接続状態:	97%
電波状態:	100%

終了

接続状態を確認してください。

4

接続テスト結果

接続状態　電波状態

診断結果: 良好

再試行(R)　終了

接続テスト結果が表示されます。
接続テスト結果の説明は次ページを参照してください。

接続状態		電波状態	
	最適		最適
	良好		良好
	悪い		問題あり
	最悪		悪い
		圏外	通信不可

接続状態と電波状態の結果を総合的に判断して、診断結果が表示されます。

良好：総合的に問題ありません。　　不適：不安定な状態であることを示します。

診断結果が不適の場合は以下の対策を試みてください。

1. 無線 LAN パソコンを AirStation に近づけます。（ただし、30cm 以内に近づけないでください）
2. AirStation の位置を変更する。
3. AirStation と無線 LAN パソコン間の見通しをよくします。
4. AirStation、無線 LAN パソコンの近くに電子レンジ等の電波発生源がないことを確認します。

1.4 自己診断機能

AirStation は、電源 ON 時または再起動時に、自己診断する機能を持っています。

異常が発生したときは、DIAG ランプの点滅回数で、エラー内容を特定できます。DIAG ランプの点滅は、電源 OFF 時または再起動時まで、繰り返しおこなわれます。

⚠注意　DIAG ランプは、データの書き込み中も点灯します。データの書き込み中は、絶対に AC アダプタの抜き差しをおこなわないでください。
※ データの書き込みは、設定時とファームウェア更新時におこなわれます。

■ DIAG ランプ点滅時のエラー内容

点滅回数	状態	説明
1 回	RAM チェック異常	内部メモリの読み書きができません。
2 回	ROM チェック異常	フラッシュ ROM の読み書きができません。
3 回	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが故障しています。
4 回	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが故障しています。
5 回	時計異常	時計が正常に設定されていません。または、時計の電池が切れている恐れがあります。
9 回	上記以外の異常	

上記のエラーが表示されたときは、一度、AC アダプタをコンセントから抜き差ししてください。抜き差ししてもエラーが表示されるときは、弊社修理センター宛に AirStation を直接お送りください。